

前橋市立 図書館だより 第369号



前橋市立図書館
司書 若井 苗
『禁色』

三島由紀夫著 新潮社

学生の頃、書店の棚に並ぶ三島由紀夫全集に強烈に惹かれました。特別な理由はなかったように思いますが、あるとすれば『禁色』を知ったからかもしれません。課題提出のために読んだ一冊は、私がそれまでに知っていた三島由紀夫の世界とは全く違う印象を与えてくれました。老作家は美しい青年を自分のために利用していたのか、逆に利用されていたのか。読み終えて、他人が見た夢を覗き見たような不思議な感覚になりました。そしてその頃から、この作家と作品はどれも私にとって興味深い存在です。今、この時代に生きていたら何を思い、どんな発言をするのか気になりますが、叶うなら、あの時代を生きてあの熱量を味わってみたい気がします。



司書おすすめの
一冊

休館日	祝日の場合は開館し翌日休館
前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・総合教育プラザ・南橋・大胡・富士見分館	月曜
城南・東・芳賀・清里・宮城・粕川分館	木曜
前橋子ども図書館	第4水曜

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
対策や利用制限などはウェブサイトをご覧ください



図書館よもやま話
緊急事態宣言、群馬県独自の警戒度の発令など、国や県が対応を発表するたびに、図書館の開館状況についての問い合わせが多数あります。これは利用者みなさんにとって、図書館が日常生活の一部となっていることの表れだと思っています。紙面で紹介している須田良介さんそのような利用者の方で、暑寒問わず図書館を利用されているとのこと。そんな須田さんが図書館を題材にした俳句で金賞を受賞されたことは、図書館職員にとって、こんなに嬉しいことはありません。今後も、みなさんの日常生活の一部としてお役に立てるよう、図書館職員一同邁進してまいります。(黒崎)

新刊案内

菊の文化誌

トゥイグス・ウェイ 著 原書房
古代中国から現代まで、生



と死の両方を象徴する菊の知られざる歴史。菊をヨーロッパに運んだプラントハンターたちの秘話、浮世絵や印象派の絵画、菊と戦争、日本の菊文化ほか、菊のすべてに迫る文化誌



落語でわかる「民法」入門

森 章太 著 日本実業出版社
庶民の暮らしを描いた落語の斬

NEW

を事例にして解説した、令和2年4月施行後の改正民法を楽しく学べる超入門書

作りを楽しむ 蜜ろう入門

安藤 竜二 著 農山漁村文化協会
甘い香りややわらかな炎が灯る蜜ろうキャンドルをはじめ、自然な暮らしを好む人たちの中で



コロナ禍による新しい生活様式の実践に伴う活動自粛等、私たちの生活も限界に達し憂鬱な日々が続いています。2月は節分。コロナという悪い鬼を追い払い平穏な生活がやってくることを願ってやみません。図書館は施設の利用制限はありますが、本の貸出を続けています。stayhomeの時こそ、読書に時間を割いて



館長 伊井直文の
つぶやき vol.20

はいかがでしょうか。

俳句 図書館へ 自転車をこぐ 暑い道

▶ 前橋市立図書館へ通う情景を詠んだ俳句が全国りんり俳句大賞で金賞

東中学校
須田良介さん
3年

前橋市立図書館
JP-1000546

図書館だより 第369号 令和3年2月発行
〒371-0026 前橋市大手町二丁目12番9号
TEL 027-224-4311 FAX 027-243-1877



前橋市立図書館
公式チャンネル
YouTube

蔵書検索
調査相談
利用案内
WEB SITE



雑誌スポンサー
を募集します

詳しくは当館
ウェブサイトで



当館では、雑誌を年間購入し、社会貢献として図書館に提供していただく雑誌スポンサーを募集しています。企業や団体の場合は、提供雑誌の新刊カバーと雑誌架に広告を掲出できます。市立図書館全館で年間約50万人の来館があります。申し込み方法など詳しくは当館へ。対象＝企業や団体、個人（個人は広告掲出不可）スポンサー期間＝決定の翌月から年度単位。費用＝雑誌代として年額約10,000円（指定の雑誌一覧から提供雑誌を選択）

命の大切さや生きやすい
社会を考える特設書棚



市立図書館本館では、2月16日（火）から3月14日（日）まで、命の大切さを考え、自殺を予防するためのブックキャンペーンを行います。本の特設コーナーを設置し、心を軽くする本や自殺予防に関連した本の貸し出しや、リーフレットの配布などを実施。自殺を防ぐには、社会全体で互いに支え合い、孤立や孤独を防ぐことが大切です。

対象Ⅱ《本の紹介者》先着10人
《ギャラリー》先着15人
申し込みⅡ同館へ電話（☎027-224-4311）で

会場Ⅱ市立図書館本館
3階視聴覚室
日時Ⅱ2月25日（木）午後1時30分
～午後3時

今回のテーマは「ふるさとの山」です。紹介者はテーマから思い浮かぶ本を一冊持参してください。紹介時間は1人5分程度です。進行役は日本山岳会群馬支部事務局長・根井康雄さんです。



前橋こども図書館



絵本読み聞かせイベント
など詳しくは同館ウェブ
サイトをご覧ください。

☎ 027-230-8833

● 本の福袋「〇〇袋」

袋に入れて本を貸し出し、本との出会いをつくる「〇〇袋」を3月25日（木）から開催します。

① 〇〇袋に入れる本選びに参加する

テーマと対象年齢を決め、所蔵本の中からあなたが薦める本のセットを作成。専用用紙にメッセージカードなどを記入します。

申し込み＝2月25日（木）～3月18日（木）に
前橋こども図書館へ直接

② オーダーメイド〇〇袋を申し込む

子どもの好みに合わせ図書館員が選書します。
対象＝15歳以下の子どもの保護者、先着10人
申し込み＝2月25日（木）～3月11日（木）に
同館窓口で調査カードに記入

● 図書館公式 YOUTUBE チャンネル
野村陽子さんの読み聞かせを配信中



前橋の赤城山に限らず、テーマから自由に連想して本を選んでください。

EVENT

おしゃべりリプロを開催
テーマは「ふるさとの山」



前橋市立東中学校3年
須田 良介さん

INTERVIEW

心のありさまをストレートに表現しました

2人の弟がいる須田さんは、受験勉強に集中するため、毎日のように市立図書館の学習室を利用してきます。夏の暑い日に、図書館へ向かう道中に思い浮かんだ俳句「図書館へ 自転車をこぐ 暑い道」が、全国の俳句コンクールで最高賞を受賞しました。学校の課題として取り組み、提出後しばらくはその俳句のことも忘れていたそうです。須田さん「ある日、教室で先生に呼ばれました。何かと思ったら、俳句が全国賞をもらえたと聞かされました。」

教室にいたクラスメートも祝福してくれたと嬉しそうです。この賞を取れたのも「皆さまのお陰です」と謙虚に話し、そのことを市立図書館の掲示板「すみっこサロン」に投稿。そこには今までで一番多くのいいねシールが貼られました。ペンネームは「戦艦『大和』のファン」です。熱心に受験勉強に取り組む理由は、進学先で機械工学の専門知識を学ぶため。「小さい時から車が好きで、将来は自動車の

● 愛読書はニュートン
（右上）りんり俳句大賞
金賞の賞状（右下）愛読書
は別冊「Newton」。市立図書館の蔵書の中からは、「虚数」「次元」「光速」を
扱う号を勧めてくれた



「この俳句が日常の身近なことから生まれたように、この本も身近な所にすごい発見があることを教えてくれます」と読書で世界を広げていきます。国語よりも理数が得意ながら、図書館では熱心に本を読みます。好きなジャンルは自然科学で、お勧めの本は「別冊ニュートン」。